

運営推進会議 議事録

事業所名	大泉デイサービスセンター
所在地	練馬区東大泉 2-11-21
開催日時	令和8年3月10日 金曜日 13:30~15:00
開催場所	大泉特別養護老人ホーム 1階介護者教室
出席者内訳	利用者家族 7名 富士見台デイサービスセンター 担当者様 地域代表名 虹のカフェ大泉 担当者様 地域代表名 練馬区立大泉福祉作業所 担当者様 大泉デイ 職員4名 練馬区よりご意見用紙の提出あり
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者の紹介 職員紹介 ・令和8年度職員体制について ・利用者状況報告 登録者数、利用率、平均介護度、事故報告について報告した後、活動状況はスライドで説明を行った。 ・BCP(業務継続計画)について 義務化された「計画の策定」や「研修、訓練の実施」等について説明を行った。 ・感染対策について 新型コロナウイルスを主とした感染への対応や緩和状況について説明を行った。 ・虐待防止について 全職員に「虐待の目チェックリスト」にて自己チェックを実施、また各種研修を開催し事業所全体で理解を深めていると説明を行った。 ・地域交流について ボランティアや学生実習などの受け入れを積極的に行っていることやデイサービスで収穫した野菜を地域施設へ寄付していることについて報告を行った。また、法人内の事業所とも連携し区内の小学校にて高齢者疑似体験に参画した報告を行った。 ・大規模改修工事の進捗について 令和6年度9月より着工した工事がほぼ終了した事を報告した。 ・練馬区介護保険課事業者運営推進係担当者様より情報提供されたヒートショックの発生を予防する取り組みを説明した。 ・会議に参加された御家族様、各担当者様に見学案内を行った。
評価	指摘事項なし
要望、意見及び助言	利用者家族 <ul style="list-style-type: none"> ・完成途中の塗り絵等を持ち帰ってくることもあるが、家に帰

	<p>っても取り組まない。デイで完成させないのか。</p> <p>職員より、塗り絵等個人で行う活動は基本的に余暇時間に取り組んで頂いている。ご本人様は同席のお客様と楽しそうに談話されている姿を多く見受けられる。塗り絵をされるより他者との関わりを楽しまれていると説明した。</p> <p>・欠席の連絡について、前日の営業時間までに連絡することとなっているが、日曜日に体調が悪くなった場合、当日欠席になってしまい料金が発生する。</p> <p>職員より必ず職員が常駐しており、夜間は警備員が対応している。今一度、警備員の体制を確認し改善していくと説明した。</p> <p>虹のカフェ大泉担当者様</p> <p>・ボランティアの現在の状況をお話ししてもらい、情報を共有した。</p> <p>練馬区立大泉福祉作業所担当者様</p> <p>・事業所紹介をしてもらい知識を深めた。</p>
その他	特になし。
次回の開催予定	日時：令和8年9月頃 場所：大泉デイサービスセンター

令和7年度 大泉デイサービスセンター 第2回 やまびこ・たちばな運営推進会議

開催日時：令和7年3月10日(水) 13時30分～15時00分

開催場所：大泉デイサービスセンター 1階介護者教室

出席者： お客様ご家族様
大泉居宅介護支援事業所 角屋様
練馬区立大泉福祉作業所・大泉つつじ荘 吉田様
虹のカフェ大泉 浦嶋様
富士見台デイサービスセンター 森田様
大泉デイサービスセンター 阿部 神山 白取 本田

【案件】

1. 職員および参加者の紹介
2. 利用者状況報告
登録者数・利用率・平均介護度・事故、ヒヤリハット報告
3. BCP、感染症対策、虐待防止への取り組み
4. 活動状況報告（スライド参照）
5. 地域交流について(石神井小さなうちへの寄付など)
6. 報告事項
7. ご出席の皆さまからのご要望、ご意見等
8. 施設内見学(希望の方のみ)

1. 職員の紹介

大泉デイサービスセンター所長

阿部 龍（昨年度より継続、介護士兼務）

認知症対応型通所介護「たちばな」管理者

神山 洋美（富士見台デイサービスセンター所長へ就任、異動）

認知症対応型通所介護「たちばな」管理者

大貫 綾（大泉特別養護老人ホームより異動、介護主任就任、介護士兼務）

その他 一般デイサービスセンターと兼務

やまびこ生活相談員：本田 愛海（昨年度より継続）

たちばな生活相談員：白取 あゆみ（昨年度より継続）

介護職員：

高橋 瞳（9/1 付け入職）

高橋 美晴（1/1 付け入職）

西松 由美（4/1 付け関町デイサービスより異動）

室橋 彰子（4/1 付け関町デイサービスより異動）

末岡 申次（4/1 付け関町デイサービスより異動）

機能訓練指導員：

釜田 武幸（3/1 付け東大泉デイサービスより異動）

送迎員：

荒井 猛（6/16 付け入職）

田中 芳輝（9/1 付け東大泉デイサービスより異動）

小堀 経吉（2/1 付け関町デイサービスより異動、富士見台デイサービスセンターと兼務）

その他：介護士 20 名・看護師 3 名・機能訓練指導員 4 名

送迎員 12 名・介護補助 1 名

2. 利用者状況報告

登録者数

やまびこ（一般型）	男性	女性	合計
令和 8 年 2 月 28 日現在	25 人	67 人	92 人 (共生型含む)
令和 7 年 3 月 31 日	36 人	65 人	101 人
たちばな（認知症対応型）	男性	女性	合計
令和 8 年 2 月 28 日現在	2 人	20 人	22 人
令和 7 年 3 月 31 日	5 人	19 人	24 人

利用率

やまびこ（一般型）	平均利用率
令和7年度（令和8年2月28日現在）	79.9%
令和6年度	84.4%
たちばな（認知症対応型）	平均利用率
令和7年度（令和8年2月28日現在）	65.3%
令和6年度	72.9%

平均介護度

やまびこ（一般型）	介護度	たちばな（認知症対応型）	介護度
令和8年2月28日現在	2.42	令和8年2月28日現在	4.13
令和7年3月31日時点	2.56	令和7年3月31日現在	3.9

事故、ヒヤリハット報告

事故内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月
すり落ち						1
転倒		1			2	
誤嚥				1	1	
忘れ物・紛失						
その他	1					

事故内容	10月	11月	12月	1月	2月
すり落ち		1		1	
転倒		1			
誤嚥					
忘れ物・紛失					
その他			2	2	

3. BCP(業務継続計画)、感染症対策、虐待防止の取組について

【BCP(業務継続計画)】

- 介護保険制度の一部改正に伴い、令和6年度よりBCPの策定が義務付けられました。BCPにつきましては、「自然災害発生時」と「感染症発生時」の2種類を策定することとなっております。自然災害や感染症の蔓延した場合などを想定し、人材や資源など限られている状況の中で、お客様と職員の安全の確保やサービス提供体制の迅速な復旧、地域における避難拠点となれるよう、かねてより法人ではBCPを策定し、運用を行っております。引き続き、運用を継続しながら適宜見直しを図ってまいります。

この建物は福祉避難所として登録しております。9/9（火）に全体研修として特養、デイ、居宅、訪問と各事業所で参集し合同研修を実施しております。地域の皆様に有事の際に安心して頂けるよう『最新の災害情報の共有』と『備蓄品の保管場所の共有』を図りました。

また、事業所内研修として、6・9月にWEB研修を活用し『感染症における研修』を実施致しました。1月には看護師を講師として感染症対策の訓練を実施致しました。11月に非常災害におけるBCP研修と訓練を実施致しました。

【感染症対策】

- 新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行してから2年以上が経過しました。ボランティアの受け入れなど段階的に緩和していき、以前のデイサービスのような活気が戻りつつあります。

令和5年度末で行政機関による「抗原検査キットの配布」などの補助が終了となりました。今後は原則、症状が見られた場合は病院受診を推奨する事となります。ご理解のほど、宜しくお願い致します。

- 新型コロナウイルスおよびインフルエンザ予防接種につきましては、職員は任意接種となります。出勤前の検温や業務中のマスク着用など、体調管理は引き続き行ってまいります。
- お客様においては、ご利用前の体調確認、検温等ご協力いただいております。ご利用中のマスク着用については、着用を推奨しております。

【虐待防止】

- 全職員が5月に「虐待の芽チェックリスト」にて自己チェックを実施しています。虐待の芽や不適切なケアについて各自振り返りを行っています。「虐待の芽チェックリスト」の結果については集計のうえ対応の向上を図っています。
- 全職員が7・2月に「虐待防止に関する研修」をテーマにオンライン研修を受講し、学びを深めています。
- 管理層職員は、年1回高齢者権利擁護研修を受講し、高齢者虐待防止や権利擁護についての理解を深め、自事業所の状況を振り返る機会としています。
- 虐待防止委員会を設置し、毎月第2火曜日に開催しています。委員会構成メンバーは、所長、介護士、看護師、生活相談員、機能訓練指導員などで構成されています。

4. 活動報告について（スライド参照）

- 毎月1回、介護士会議にて事例検討会を実施しております。お客様1名を対象としセンター方式を用いて課題の抽出から分析、評価に至るまで全介護士で話し合う会となっております。今年度は事業所全体の専門性を高める目的も加え、お客様の

抱えている既往歴や認知症型別の特徴、対応方法のポイント等を共有しております。
専門性を活かし、同時に高めることでお客様へ提供できるサービスの質の向上に繋がると考えております。また、職員アンケートを実施し事例検討会をより有意義なものとするための案を募りました。結果、様々な意見を頂けたため今後を活かしていきたいと考えております。

5.地域交流について

- 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となったことを機に、地域のボランティア団体の受け入れを再開しております。今年度は感染対策を続けながらも、「ギター演奏会」「ウクレレ演奏会」「ピアノ演奏会」などボランティアの方々には、積極的にプログラム活動へ参加をしていただいております。さらに、今年度新たなボランティアの方も増えております。お客様にもご好評頂いております。
- 大泉ボランティア・地域福祉推進コーナーより、お客様と麻雀などの余暇活動と一緒に行って下さる方や福祉へ興味をお持ちの学生など多岐にわたる地域ボランティアをご紹介いただきました。昨年に引き続き、継続してお越し頂いております。
- 近隣の中学生2名の「職場体験」の受け入れを行い、次世代への福祉教育の機会を持ちました。
- 法人内の事業所とも連携し区内の小学校にて高齢者疑似体験に参画させて頂きました。
- お客様とともに、園芸クラブで育てた野菜(きゅうり、ゴーヤ、ナス、トマトなど)を収穫しました。収穫した野菜は「地域貢献」を目的に、その都度不登校の小学生などの居場所「石神井小さなうち」へ寄付を行いました。(全3回)

6.報告事項

- 大規模改修工事について

令和6年度9月30日より、建物の大規模修繕工事を着工いたしました。

主に、4、5階のケアハウスが特養50床増に転換される工事となります。

1階部分の改修も着工し、おかげ様でデイサービスセンターの活動スペースに関してはほぼ工事終了となりました。皆様におかれましては、お弁当の提供や入浴人数の制限等、多大なるご迷惑をお掛け致しました。

4月から一般型デイサービス「やまびこ」の名称が「けやき」に変更となります。生まれ変わったデイサービスとして心地の良い環境でより良いサービスを提供させて頂きます。今後も何卒宜しくお願い申し上げます。

- 練馬区介護保険課事業者運営推進係ご担当者より

【ヒートショックの発生を予防する取り組み】

- 暖房機器をうまく活用し、暖かい場所と寒い場所の温度差を少なくする。
- 入浴時の湯温は41℃以下、湯につかる時間は10分までを目安とする。
- 湯船から立ち上がる時は、ゆっくり立ち上がる。
- 食後すぐの入浴や飲酒後、医療品服用後の入浴は避ける。
- 暖かい屋内から寒い屋外へ外出する際は、手袋、マフラーを活用する等、特に手や首回りの防寒に努める。

7.ご出席の皆さまからのご要望・ご意見

令和7年度 第2回運営推進会議

ご意見・ご要望等

資料のご確認ありがとうございました。ご意見、ご要望などございましたら、この用紙の提出、またはFaxやメールでご返信いただけますと幸いです。また、次回の開催は、令和8年9月頃を予定しています。

FAX : 03-5387-2144

メール : ooizumiday@nerima-swf.jp

期限 : 令和8年3月24日(火)

※ご意見やご要望の無い場合は、返信の必要はございません。

ご意見・ご要望など